**2022年度 第2回「ぶんせき」編集委員会　議事録（案）**

【日時】2022年5月25日（水）14：00～16：40（Webexによるオンライン会議）

【出席者（敬称略）】勝田、菅、津越、菅沼（記）、富岡、東海林、田中、宮下、齊藤、坂牧、谷合、村居、岡村、堀田、森山、高橋、中原、市場、稲川、岩井、山崎、永谷、森、野間、佐藤（慈）（事務局）

【欠席者（敬称略）】松神、照井、福島、三浦

配布資料

議題\_2022年度第2回編集委員会

資料番号1\_2022年度第1回ぶんせき編集委員会議事録案

資料番号2\_原稿入手状況\_進捗

資料番号3\_目次2022年6号初\_0524

資料番号4\_目次2022年7号初\_0524

資料番号5-1\_2022特集\_企画主旨

資料番号5-2\_2022特集\_執筆依頼状況\_20220523

資料番号6\_2023ミニファイル\_企画主旨-rev

2022技術紹介一覧0524

勝田委員長の議事進行により、以下審議が行われた

1．前回議事録の承認　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　［資料番号1］

2022年度 第1回編集委員会議事録は異議なく承認された

2．原稿依頼・入手状況の報告　　　　　　　　　　　　　　　　　　　［資料番号2］

1）とびら・談話室［勝田委員長］

とびら：△は内諾済み、12号は編集委員が執筆するが今年は菅沼が執筆する。

このひと：進捗無し

談話室：No.32は5月中旬に脱稿済み、掲載待ち3つ、6月末7月末脱稿分が未確定であり、齊藤委員が対応する。

2）リレーエッセイ・トピックス・話題・こんにちは

リレーエッセイ（村居幹事）：

順調に進んでいる。もう一人担当を増やしてほしく、後日勝田委員長から打診する。

トピックス（坂牧幹事）：1件以外WEBに移行済み。順調に進んでいる。

話題（菅幹事）： No.31までメールで依頼し、No.32以降はWEBで依頼済み。メールで依頼した分は全て終了した。No.32が遅れていたが、原稿が提出され、これから閲読する。No.33を解説に移動。

こんにちは（津越理事）： 菅沼分、締切設けて連絡なければ提出とする旨、先方に連絡する。支部担当分で関東支部のみ無いが、関東支部（高橋委員）にも候補を挙げてもらう。関東以外でも良いが、その支部との調整は必要。交通費の問題があるので、近場が好ましい。2-3件挙げて欲しい。大学でなくてもよく、公設施設や企業でもよい。

3）解説・展望・講義，入門講座（2022後半・2023）［菅沼副委員長］

解説：No.17と19が掲載可。No.18と20はWEBで依頼済みであり、今月脱稿予定。

展望：No.09はWEBで依頼済み。

講義：No.10は掲載可。No.12はWEBで依頼済み

入門講座（2022年後半）：No.06は脱稿期日が1週間延びる旨の連絡があり。

入門講座（2023年）：

No.4,5のみ2号に渡っているのでWEBではなくメールでやり取りする。その他はWEBで依頼済み。

4）創案と開発、ぶんせきの泉、ミニファイル（2022）［富岡幹事］

創案と開発：No.6が掲載可になった。他の委員からの提案を募集する。

ミニファイル（2022）：12号が遅れているが、5月中には脱稿予定。

通常、1番始めに企画趣旨を載せているが、今回失念してしまったため、来年は忘れないよう進める。

5）その他［事務局］

インフォメーション：3件掲載可。第82回討論会報告を依頼済みであり、6月末脱稿予定

3．2022年第6号・第7号掲載予定［勝田委員長］　　　　　 ［資料番号3，4］

第6号　話題：間に合えば、「電気化学的センサー」を「電気化学センサー」に変更。

第7号　話題：題目と本文で「センサ」を「センサー」に変更可能かどうか著者に確認する。

題目で「，」は使わないように、また、パターン認識と機械学習の関係がわかりやすいよう、著者に題目を再考してもらう。

トピックス：FLCSの正式名を書いていただくよう著者に依頼する。

4．2022年第6号・第7号ホームページ掲載記事［勝田委員長］　　　　［資料番号3，4］

第6号　とびら、こんにちは、リレーエッセイ、談話室、解説

第7号　とびら、リレーエッセイ、談話室、入門講座、ミニファイル

5．2022年特集［津越理事］　　　　　　　 　　　　　　　　［資料番号5］

・4名内諾が得られ、8月10日脱稿で依頼済み。

・GLサイエンスの著者が交代になった。WEB上では前の執筆者になっているので、変更予定

・あと3-4人必要であり、小委員会メンバー以外からも推薦してほしい。

GC研究懇談会でSDGsをテーマに講演会があったので、その時の講演者はどうか。

分析に使用する材料等、分析専門でなくてもよく、知り合いでなくてもよい。

・10号か11号に掲載予定

6．2023年ミニファイル［加藤前幹事（代 富岡幹事）］　　　 ［資料番号6］

10件内諾済み、7月分と9月分は加藤前幹事から打診中

内諾が得られたら、富岡幹事の方からWEBに移行する

7．技術紹介における投稿システムの利用について［東海林幹事］

・技術紹介は依頼原稿ではなく、一般投稿で受け入れたい。そのためにどうするか、小委員会で検討していく。

・現在、委員から執筆の打診はしているが、脱稿期日は決めていない。内諾得るまでといつごろ脱稿予定かを確認している。

・今後、年会や討論会でブースを出してアピールしたい。6月の幹事会で検討する。

・企業の人と接する機会が多い人を委員にしてほしい。

8．JASIS 2022（9月7日～9日）取材・執筆担当者の件［勝田委員長］

希望者は勝田委員長に連絡する。他に候補が居なければ、津越理事と齋藤委員が候補。

9．その他

・著者名の記載方法について

現状、著者名で姓または名前が一文字の時、姓と名の間に全角スペースを入れているが、他のケースではスペースを入れていない。常に入れるように統一したほうが良い。また、スペースを半角・全角のいずれにするか、「分析化学」誌との統一も検討が必要。

2022年は現状のままとし、2023年からの変更を目指す。

・パスワードについて

現在、ぶんせき誌のアーカイブを見るためのパスワードは不要になっている。毎年6号にパスワードを掲載していたが今後は不要になる。ただし、本パスワードは過去の討論会・年会の要旨集の閲覧パスワードも兼ねているため、今後どうするか勝田委員長が確認する。

・HPについて

マイページからぶんせき誌のアーカイブにいくと、一度ログアウトされてしまうなど、HPが分かり難い。津越理事から修正を打診する。

・WEB投稿システムについて

原稿をアップロードしただけで投稿されていなかったケースがあった。小委員長は、たまに状況を確認する必要がある。

＜次回委員会は7月開催の予定＞

次回の委員会では、来年の表紙と来年の特集テーマを議論する。予め意見を出してもらいたいため、改めて勝田委員長から依頼メールを送る予定。

以上